

## 会 議 録

会議名	平成 29 年度 第 2 回瀬戸内中讃定住自立圏共生ビジョン懇談会
開催日時	平成 29 年 10 月 25 日(水) 13:30~15:05
開催場所	丸亀市役所本館 2 階第 3 会議室
出席者	<p>(出席委員)</p> <p>原真志(会長)、森茂(副会長)、立山雄一、安部武矩、草薙めぐみ、角野幸治、高木和代、高橋勝子、中野吉貫、中山恭伸、平田正敷</p> <p>(欠席委員)</p> <p>佐藤友光子、高島弘武、山内一輝、尾崎佑太、谷渕大成</p> <p>(敬称略)</p>
議 題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定住自立圏共生ビジョン懇談会について</li> <li>・ 第 2 次瀬戸内中讃定住自立圏共生ビジョンについて</li> </ul>
傍聴者	0 人
事務局	<p>(中心市)</p> <p>丸亀市市長公室長 山田理恵子</p> <p>丸亀市政策課 課長 山地幸夫、副課長 富士川貴、担当長 志村芳隆</p> <p>(関係市町)</p> <p>善通寺市政策課 係長 山田大介</p> <p>琴平町総務課 主幹 造田泰</p> <p>まんのう町企画観光課 係長 丸山晃弘</p>
発言者	議事の概要及び発言の要旨
山地課長	<p>ただ今から平成 29 年度第 2 回瀬戸内中讃定住自立圏共生ビジョン懇談会を開会いたします。</p> <p>(資料の確認)</p> <p>ここからの議事進行につきましては、会長よりお願いします。</p>
原会長	<p>議事に入ります前に、本日 16 名の委員中 11 名のご出席をいただいておりますので、定住自立圏共生ビジョン懇談会設置要綱に基づき、会議は有効に成立しておりますことをご報告させていただきます。</p> <p>本日の議事は、(1)「定住自立圏共生ビジョン懇談会について」、及び(2)「第 2 次瀬戸内中讃定住自立圏共生ビジョンについて」です。</p> <p>第 1 回目の会議では、国の定住自立圏構想や瀬戸内中讃圏域での取組状況についての説明がありましたが、時間の関係もありまして、十分に把握できない部分がありましたので、本日改めて懇談会を開催させていただきました。</p> <p>初めに、(1)「定住自立圏共生ビジョン懇談会について」ですが、前回の会議で、懇談会のあり方についての疑問もありましたので、その辺りを整理して事務局より説明していただき、懇談会のあり方や役割などについて再認識したいと思います。</p> <p>事務局より説明をお願いします。</p>

志村	(定住自立圏共生ビジョン懇談会について説明)
原会長	ただ今の説明に関して、ご意見やご質問等がございましたらお願いします。
高橋委員	今年度のビジョン懇談会では、2次ビジョンに基づく取組内容や取組状況等に対しての意見、アドバイスがほしいということですが、第3次ビジョンに向けての新しい取組の提案等はできないのですか。
山地課長	昨年度のビジョン懇談会では、2次ビジョン策定に関する意見をいただきました。また、各市町議会において、2次ビジョンに関する協定締結の議案を議決いただき、本年度から2次ビジョンのスタートを切ったばかりですので、本年度のビジョン懇談会ではその進行管理をしていただくことが基本となります。ただ、新しい取組の提案ができないというわけではありませんので、意見としてお聞きし、担当課にも伝えてまいります。
原会長	<p>新規取組の提案ができないわけではありませんが、ある程度、2次ビジョンの取組における現枠組の下での意見をいただければと思います。</p> <p>他にご質問等はないでしょうか。ご質問もないようですので、次の議題に移ります。続いて、(2)「第2次瀬戸内中讃定住自立圏共生ビジョンについて」です。</p> <p>第2次ビジョンは、今年度からスタートしていきまして、前回の会議では今年度の取組予定等を説明いただきましたが、ビジョンの全体像やどのような成果につながっているのかという疑問がございましたので、今回、ビジョン全体を整理した資料を事務局に作成していただきました。</p> <p>また、前回、グループに分かれて討議してはという提案もありましたが、事務局と協議しまして、委員の皆さんに全体の取組を知っていただいて、全分野で意見を出していただくため、グループ討議はしませんが、項目も多いので、次第のとおり4つの議事に分けて、内容を整理しながら進行したいと思います。</p> <p>最初に「生活機能の強化」のうち、医療、福祉の項目について、事務局より説明をお願いします。</p>
志村	(第2次ビジョン取組一覧、「生活機能の強化」(医療、福祉)について説明)
原会長	ただ今の説明に関して、ご意見やご質問等がございましたらお願いします。
高橋委員	介護認定・障害程度区分認定審査会の共同運営の取組では、市町が共同でも単独でも合計の審査件数は変わらないと思いますが、成果指標で審査件数を設定しているのはなぜですか。
志村	この取組は、事務の効率化、審査判定の平準化・公平性の確保等のため中讃広域行政事務組合で、共同で実施しております。適確な成果指標として、数値で表せる指標

	<p>が難しく、効率的な共同実施の維持という意味から、27年度の審査件数とほぼ同数の数値を目標値に設定しております。他の取組でも同様ですが、適確な指標の設定が難しく苦慮しているのが現状です。</p>
高橋委員	<p>共同で実施することによって、認定期間が短くなるなどのメリットとなるものを成果指標で設定してはどうかと思います。</p>
原会長	<p>確かに共同で実施しても審査件数自体は変わりません。共同で実施することによるメリットとなるものを数値化できるものがあれば、それを成果指標に設定するべきですが、なかなかそれを見出すのは難しいかと思います。このような数値目標を設定する上での検討課題の一つです。</p>
草薙委員	<p>病児・病後児保育の圏域内同一料金制については、今年度に多度津町の施設が病児・病後児保育を開始したので、その点も考慮して住民への周知の検討をしていく必要があります。また、このようなサービスを実施しているのに、使われなかった、使えなかったということになってはいけません。市町でも住民周知の工夫が必要です。</p>
山地課長	<p>前回の会議でも、昨年度、琴平町では病児・病後児保育の利用がなく、PRができていないのではないかと指摘をいただきました。確認をいたしました。琴平町ではホームページや子育てガイドブックに掲載するなど、お知らせをされており、各市町からの周知が必要とされる方にどこまで伝わっているかについては、把握は難しいものがあります。伝わっていないのであれば、周知の手法を検討する必要があると思われま。</p>
富士川副課長	<p>子育てに関する情報を含めて様々な情報は、各市町でも独自に周知に努めています。定住自立圏で取り組むことにより、丸亀の情報を善通寺でも周知できるなど、周知エリアの範囲が広がるという効果はあります。さらに周知の工夫をしていくなど連携して取り組んでいく必要があります。</p>
草薙委員	<p>もちろんこの取組だけでなく、せっきくの制度ですので、住民が利用できるように行政サイドとして丁寧に取り組んでいただきたいと思います。</p>
原会長	<p>定住自立圏で取り組むことで、サービスが拡充できるようになったことをうまく周知する工夫が必要ですが、どういうタイミングで周知できるかという問題もあります。定住自立圏の取組の一つとして発信する方法もありますし、個別の制度を場面ごとで周知するという方法もあります。できるだけ両面で発信していくべきだと思います。</p>
安部委員	<p>発達障害児支援事業では研修会やセミナーを開催していますが、各参加者数が28年度の参考値とはなりますが、既に2次ビジョンの目標値を上回っています。それに</p>

	<p>よって、支援団体が増えるなど何か効果はありましたか。</p>
山地課長	<p>こちらの研修会やセミナーは、保育士や教員等に行われているもので、発達障害児への対応について理解した上で適切な保育や教育ができるよう取り組んでいるものです。できる限り多くの先生方に受講していただき、発達障害児への支援につながるよう、続けていく必要があると考えています。</p>
中山委員	<p>今回の資料の取組一覧では、具体的行動内容が分からないものもありますので、説明の際に加えていただきますと分かりやすくなります。</p>
山地課長	<p>具体的な取組内容や取組状況は、前回の会議で説明しましたが、今回はビジョンの全体像が分かるような資料として説明させていただいています。この後の説明においては、前回の資料も一緒に見ていただきまして、説明の中では具体的取組のことも触れさせていただきます。</p>
原会長	<p>他にご質問等はないでしょうか。ご質問もないようですので、次に移ります。</p> <p>続いて、「生活機能の強化」のうち、産業振興、消防・防災、その他の項目について、事務局より説明をお願いします。</p>
志村	<p>(第2次ビジョン取組一覧、「生活機能の強化」(産業振興、消防・防災、その他)について説明)</p>
原会長	<p>ただ今の説明に関して、ご意見やご質問等がございましたらお願いします。</p>
立山委員	<p>就職面接会では、参加者数や求職者数を目標値にしていますが、成果という意味ではどれだけ採用になったかという数値を設定する方が適当ではないかと思います。</p>
山地課長	<p>就職面接会については、参加者数が少なく、なかなか採用にまで至っていないのが現状です。担当課では、開催時期や場所を変更するなど改善を図っていますが、求職者の参加者増に結びついていません。抜本的な変更も含めて検討中と聞いています。</p>
森副会長	<p>地元の企業が知られていないという状況が考えられます。例えば、就職の1年前になる高校2年生の段階で、地元の企業の説明会を開催することで、地元企業への就職、定着につながります。就職面接会の効果が薄いのであれば、そのようなことも検討してはどうかと思います。</p>
山地課長	<p>就職面接会では効果が上がらないということであれば、そのようなことも検討が必要だと思います。担当課にも伝えてまいります。</p>
高橋委員	<p>6次産業化推進事業では、成果指標で商品開発の件数が5件となっていますが、具</p>

	<p>体的な取組内容はありますか。</p> <p>また、広域観光の推進の中で、滞在型観光の検討・PR 事業と圏域内レンタサイクル整備事業には、成果指標が設定されていませんが、どのように進めていきますか。</p>
志村	<p>6次産業化推進事業では、1次、2次、3次産業の各事業者間のビジネスマッチングを推進し、地域資源を活かした商品開発や販路拡大につなげていくものです。前段階として、今年度は事業者間でのマッチングを図るための交流会を開催する予定にしています。33年度までには商品開発につながることを期待しています。</p> <p>滞在型観光の検討・PR事業は、3市5町によるさぬき瀬戸大橋広域観光協議会の中でPRしていくもので、現状では特に成果指標の設定はありません。圏域内レンタサイクル整備事業は、早期に協議を始めて供用することを目指しています。</p>
中山委員	<p>広域的な有害鳥獣対策で、緊急連絡体制の整備はどこまで進めていくのですか。</p>
志村	<p>第2次ビジョンから新規に取り組むもので、これから進めていくものですが、有害鳥獣の出没や捕獲に関して、近隣の市町と緊急連絡できるように体制整備していくこととなります。</p>
原会長	<p>他にご質問等はないでしょうか。ご質問もないようですので、次に移ります。</p> <p>続いて、「結びつきやネットワークの強化」について、事務局より説明をお願いします。</p>
志村	<p>(第2次ビジョン取組一覧、「結びつきやネットワークの強化」について説明)</p>
原会長	<p>ただ今の説明に関して、ご意見やご質問等がございましたらお願いします。</p>
森副会長	<p>公共交通の市町間連携では、公共交通や福祉サービスを利用して、圏域内の目的地へ到着できるネットワークを確保することが期待されていますが、その運用・効果の検証を33年度まで続けていくということですか。</p>
山地課長	<p>1次ビジョンから続いている取組でありまして、首長による推進委員会からの意見として、丸亀市のコミュニティバスを多度津町や琴平町まで一部延伸した場合の検討なども行われていますが、費用負担が発生しますことから、費用対効果を考えて現状では難しい状況です。1次ビジョンでは「コミュニティバスの市町間連携」という取組名でしたが、2次ビジョンからは市町独自の公共交通やJR、琴電との交通連携、接続を図っていこうという取組になっております。</p>
高木委員	<p>図書館相互利用の促進において、図書館の年齢別利用者数や貸出本の種類の分析ができれば、それを基に各市町の図書館によって蔵書の種類を変えるなど、各市町の図書館の特色を出せるのではないかと思います。</p>

山田市長公室長	丸亀市の図書館ではシステムを利用していますので、利用者数や図書の種類などの分析は可能です。また、丸亀市では図書館が3館ありますので、その中で児童図書を多く揃えるなどの特色は出せますが、他市町では1館しかない中で満遍なく図書を揃える必要がありますので、そのようにするとしても協議が必要になってきます。
原会長	<p>学生がテスト前などに図書館を利用することが多いようです。そのような利用方法についての分析も必要かと思います。</p> <p>他にご質問等はないでしょうか。ご質問もないようですので、次に移ります。</p> <p>続いて、「圏域マネジメント能力の強化」について、事務局より説明をお願いします。</p>
志村	(第2次ビジョン取組一覧、「圏域マネジメント能力の強化」について説明)
原会長	ただ今の説明に関して、ご意見やご質問等がございましたらお願いします。
立山委員	大学等との交流・合同研修等の推進の中で、香川大学との地(知)の拠点整備事業が実施されていますが、具体的にはどのようなものですか。
富士川副課長	定住自立圏では、香川大学とは包括連携協定を結んでいます。その香川大学の学生が直接地域に入って、地域のことを研究し、地域に貢献していこうという事業で、丸亀市も費用負担するなど連携、協力をしています。具体的には、商店街の活性化を一つのテーマとして事業を行っており、子どもの宿題教室や多世代が集う食堂など、居場所や交流づくりをしています。
立山委員	私どもの大学校でも地域に根ざした学校づくりを目指しており、先日も学内で「ものづくりフェスタ」を開催して、地域の小中学生にも参加していただいています。丸亀市と連携して、このような事業を商店街でも開催できればと考えています。
原会長	地(知)の拠点整備事業は、文部科学省から採択されたCOC事業というもので、大学と地元自治体が連携して地域の活性化につなげていこうとするものです。私どもの大学では本年度で終了となっていて、来年度以降、継続するかどうかの検討がされています。
平田委員	全体を通しての意見となりますが、定住自立圏での取組については、住民はほとんど知らないのが現状で、どのように周知して、PRするかが問題だと思います。例えば各市町の広報紙にコーナーを設けて、情報発信していくのも一つの方法です。実際の取組の中で、特に住民に関係のあるものをもっと広報していくべきだと思います。
山地課長	定住自立圏の取組の中には、地域情報の共有化と共同発信があります。定住自立圏

	<p>でのイベント情報等は広報されていますが、その他住民に関係するような取組も発信していく必要があると思われしますので担当課に伝えます。</p>
中山委員	<p>地域情報の共有化と共同発信の取組では、広報紙やホームページだけでなく、SNSや印刷物などの媒体で情報発信していきますが、成果指標では、ホームページの閲覧件数だけが掲げられています。他の媒体についても、指標を検討してはどうかと思います。</p>
山地課長	<p>成果指標については、可能な限り設定したものとなっていますので、全ての取組で設定されていませんし、この指標で適当なのかという問題もあります。今後変更できる適切な指標があれば見直しも検討したいと思います。</p>
草薙委員	<p>定住自立圏について、インターネット上で検索しても取組の内容が見えてこないの、住民も興味を持たないのではないかと思います。定住自立圏の簡単な取組一覧をホームページに載せて、どういうことをしているかということが分かるようにしてはどうかと思います。</p>
山地課長	<p>ホームページでは、ビジョン本体も PDF 形式で載せてはいますが、一見して取組内容が分かるように、今回作成した資料を利用するなど見せ方についても検討したいと思います。</p>
原会長	<p>ほかにご意見等もないようでございますので、以上とさせていただきます。</p> <p>本日、予定しておりました議事は終了いたしました。その他として、事務局より何かありますか。</p>
志村	<p>(次回会議開催について説明)</p>
原会長	<p>以上をもちまして、本日の懇談会を終了いたします。ご審議、お疲れ様でした。</p> <p>(会議終了)</p>